

令和3年度 事業計画・収支予算の概要

明るい展望を描ける年に

事業計画

国内では新型コロナの影響によって、大企業を中心に本社機能の見直しの動きやリモートワークの浸透、業態変更などが進みつつあります。また、舞鶴市では、飲食・観光関連業を中心とするコロナ禍に加え「JMU商船建造終了」が5月末に迫っているほか、人口減少や高齢化などと相まって、かつてない逆風下にあると言わざるを得ません。

令和3年度は、過去に経験したことのない危機的状況ではありますが、コロナ禍に耐え、アフターコロナを見据えた成長戦略を具体化して「明るい展望を描ける年」にする必要があります。

舞鶴商工会議所では、役員・議員はもとより全会員が丸となって、国や府、市との強固な信頼関係のもとで、次の事業に取り組みます。

基本方針

1. 新たな環境に対応するために

JMU舞鶴事業所の「商船建造撤退」の対応にあたっては、造船の人材・技術・設備が活きる新分野への事業展開が必要であり、新たな産業の構築という観点から、引き続き関係機関に働きかけてまいります。

また、本市産業界は、「ベースロード電源」を安全に維持管理する役割を果たしているところであり、2050年カーボンニュートラルを目指す上からも、地域を支える基幹産業として、「安全確保」を大前提に、「安定供給」、「経済性」、「環境保全」を考慮したエネルギー政策の推進を働きかけていきます。

一方、コロナ禍での社会経済の変革により、中小・小規模企業にも新しい生活様式への対応が求められていることから、あらゆる施策を活用し、これを支援してまいります。

そして、本市の活性化に直接つながる、道路や港湾、鉄道、治水対策などの基盤整備の促進についても、市とともに国・府へ要望してまいります。

2. 次なる成長を目指す事業者を応援

アフターコロナを見据え、業態転換や新分野進出などに挑戦し「稼ぐ力」を高めようとする中小・小規模企業を経営・金融両面から積極的に支援していきます。

そして、人口減少と高齢化が進行し、人材の確保難や後継者不足の中、生産性の向上も不可欠なことから、「身の丈にあった」ICT活用の取り組みを支援します。

さらに、創業実現に向けたチャレンジへの支援と後継者問題の解決に向けた取り組みも行います。

3. 頼られる商工会議所を目指して

舞鶴商工会議所は、どのような社会情勢であっても「中小企業の活力強化」を目指し、「成長する経済」の実現に組織を挙げて取り組んでいかなければなりません。

会員の増強と会員間の交流・連携の促進や部会・委員会活動の活性化を図るとともに、日本商工会議所のもと、関西・京都府の連合会や各地商工会議所などと連携しながら、中小・小規模企業を取り巻く経営環境の変化と会員ニーズを的確に把握し、商工会議所の事業運営に反映させ、頼られる商工会議所を目指します。

行動指針

1. 行動する商工会議所、魅力ある商工会議所づくりを進める。
2. 府、市、他の経済団体との連携を一層強化する。
3. 部会、委員会活動を強化する。
4. 会員ニーズの把握に努め対応する。

○事業計画、基本方針などの全文は舞鶴商工会議所ホームページに掲載しています。